



1992 ~ 1993

本坊ガバナー公式訪問報告書

1992.11.25

Real Happiness is Helping Others

まことの幸福は人助けから

会長 岩 元 紀 彦

幹事 玉 川 哲 生

鹿児島西ロータリークラブ

目 次

本坊蔵吉ガバナー公式訪問日程	1
クラブ協議会プログラム	2
委員会構成	3
ガバナー挨拶	4
1992～93年度R.I第2730地区の概況	6
R.I.第2730地区委員会組織図	7
地区委員会組織図及び委員名	8
会長報告	10
幹事報告	11
クラブ概況	12
例会活動実績報告	14
西ロータリークラブの推移	18
会計報告	20
クラブ奉仕委員会報告	20
会員増強委員会報告	21
会員選考委員会報告	21
職業分類委員会報告	22
出席委員会報告	22
親睦委員会報告	23
ロータリー情報委員会報告	23
会報・雑誌委員会報告	24
プログラム委員会報告	25
広報委員会報告	26
S・A・A報告	26
職業奉仕委員会報告	27
社会奉仕委員会報告	28
ローターアクト委員会報告	28
青少年奉仕委員会報告	29
インターアクト委員会報告	30
国際奉仕委員会報告	30
ロータリー財団・米山奨学委員会報告	31

(別 冊)

1992～93年度 クラブアッセンブリー

本坊藏吉ガバナー公式訪問日程

11月25日(水)

- | | |
|-------------|--------------------------------------|
| 11:00~12:00 | 会長, 幹事, 会長エレクトとの協議会
(山形屋7Fフェニックス) |
| 12:30~13:30 | 例会(公式訪問) (山形屋7F社交室)
例会終了後記念撮影 |
| 14:00~16:00 | クラブ協議会 (山形屋7F社交室) |

クラブ協議会プログラム

1992. 11. 25 於 山形屋

点開 会 の 鐘
 ローターリーソン グ
 歓迎の辞及び
 ガバナー・分区代理紹介
 ガバナー挨拶
 会長 報 告
 幹事 報 告
 会計 報 告
 クラブ奉仕委員 会 報 告
 会 員 増 強 " "
 会 員 選 考 " "
 職 業 分 類 " "
 出 席 " "
 親 睦 " "
 ローターリー情報 " "
 会 報 ・ 雑 誌 " "
 プ ロ グ ラ ム " "
 広 報 " "
 S . A . A 報 告
 職 業 奉 仕 委 員 会 報 告
 社 会 奉 仕 " "
 ローターアクト " "
 青 少 年 奉 仕 " "
 インターアクト " "
 国 際 奉 仕 " "
 ローターリー財団・米山奨学委員会報告
 講 評
 閉 会 の 辞
 点 鐘

副 会 長

会 長
 ガバナー
 会 幹 事 計 長
 会 副 員 長

岩 男 秀 彦

岩 元 紀 彦
 本 坊 藏 吉
 岩 元 川 紀 彦
 玉 川 協 哲 生
 下 脇 男 二 則
 岩 前 田 山 樹 一 彦
 小 山 幸 義
 吉 山 留 和 益
 大 下 迫 守 磨
 永 松 井 実 弘
 高 井 敏 夫
 三 角 桂 次 郎
 川 田 恵 一
 三 反 田 藤 男
 山 元 田 政 明
 村 田 崎 和 男
 田 川 崎 一 郎
 川 平 建 次 郎
 古 木 圭 介
 千 原 昭 義
 安 田 正 治
 本 坊 藏 吉
 玉 川 哲 生

ガバナー 一 事

鹿兒島西ロータリークラブ理事・役員・委員会構成

1992. 7 ~ 1993. 6

会 長	岩元 紀彦	副 会 長	岩男 秀彦
幹 事	玉川 哲生	副 幹 事	佐伯 寿郎
理 事	山元 政明	S A A	三反田藤男
	村田 和男	副SAA	江口 清隆
	川平建次郎		牛垣 徹
	千原 昭義	会 計	下脇 二則

委 員 会		委 員 長	副 委 員 長	委 員			
ク ラ ブ 事 務 仕	クラブ奉仕	岩男 秀彦	吉留 益	小山 幸義	川田 恵一	前田樹一郎	
	会員増強	前田 樹一郎	内山 光男	三角桂次郎	永松 実夫	大迫 守弘	
	会員選考	小山 幸義	中尾 正昭	高井 敏治	山下 和磨		
	職業分類	吉留 益	水 潤 清 治	石神 兼康	川村 洋	光吉 正昭	
	出席	山下 和磨	高山 義則	木治屋克己	小園 正人	徳澤 紀生	
	親 睦	大迫 守弘	松田 忠臣	柿市 高重	崎元 行範	上原 満	
	ロータリー情報	永松 実夫	白 濱 英 美	林 其為	須田 正己	新川 靖博	
社 会 仕	会報・雑誌	高井 敏治	山下 皓三	有馬 戦男	福田 一郎	福地 眞	
	プログラム	三角 桂次郎	桜美 義明	川崎 洋	永田 征之	王 劉彬	
	広報	川田 恵一	海江田 卓	尾崎 義則	小原 昭彦	岡山 唯一	
	職業奉仕	山元 政明	岩田 泰一	相良 正典	竹下 威	高橋 良明	
社 会 仕	社会奉仕	村田 和雄	片平 可也	森永 茂樹	野添 良隆	坂元 明雄	
	ローターアクト	田崎 一郎	山田 晴彬	田中 寛吉			
青 少 年 仕	青少年奉仕	川平 建次郎	宮 脇 真一郎	菊野 晋次	中野 隆正		
	インターアクト	古木 圭介	原田 隼男	平岡 禎吉	池口 恵観	津田 正宏	
国際奉仕		千原 昭義	福田 正臣	岩元 基	前田 隆造	吉田 正武	
ロータリー財団学 米 山 奨		安田 正治	浜田 馨	外西 寿彦	池田 廣	黒木 幸一	
ロータリー賞推薦		岩男 秀彦	村田 和雄	江夏 洋			

- R. I. 第 2730 地区インターアクト委員長 海江田 卓
- R. I. 第 2730 地区ローターアクト委員 山下 皓三

就任のご挨拶

国際ロータリー第2730地区ガバナーとしての任務にあたることになりました。地区ガバナーの役割は、国際ロータリーにおいて比類なき機会であります。その責務を果たすため挑戦し、実績を挙げる1年が待っていますから、ロータリーへの熱意をもって、数々の責務を遂行したいと存じます。

私は、ダクターマン会長の「Real Happiness is Help-ing Others」の趣旨を踏まえて

1. クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕における、各クラブ独自の奉仕計画とその実行
2. 各クラブの増強と出席率の向上
3. 財団寄与率の増加・米山記念学会寄付の増加を期待しています。

親愛なる鹿児島西クラブの皆様：私たちすべてが、ダクターマンR. I. 会長のいわれる「ロータリアン」になって、それぞれの充実をはかり、やがて私たちの住む、この地球上のすべての国に、飢餓や貧困のない平和をもたらすよう、共に手を携えて進もうではありませんか。皆様のご協力をお願い申し上げます。

国際ロータリー第2730地区
ガバナー 本坊 蔵吉

経 歴

生年月日 明治42年3月8日生

学 歴

昭和11年3月大阪帝国大学工学部

ロータリー歴

1972. 10 鹿児島RC入会

1980～81 同 会長

1982～83 鹿児島県中部分区代理

1988～89 地区大会委員長

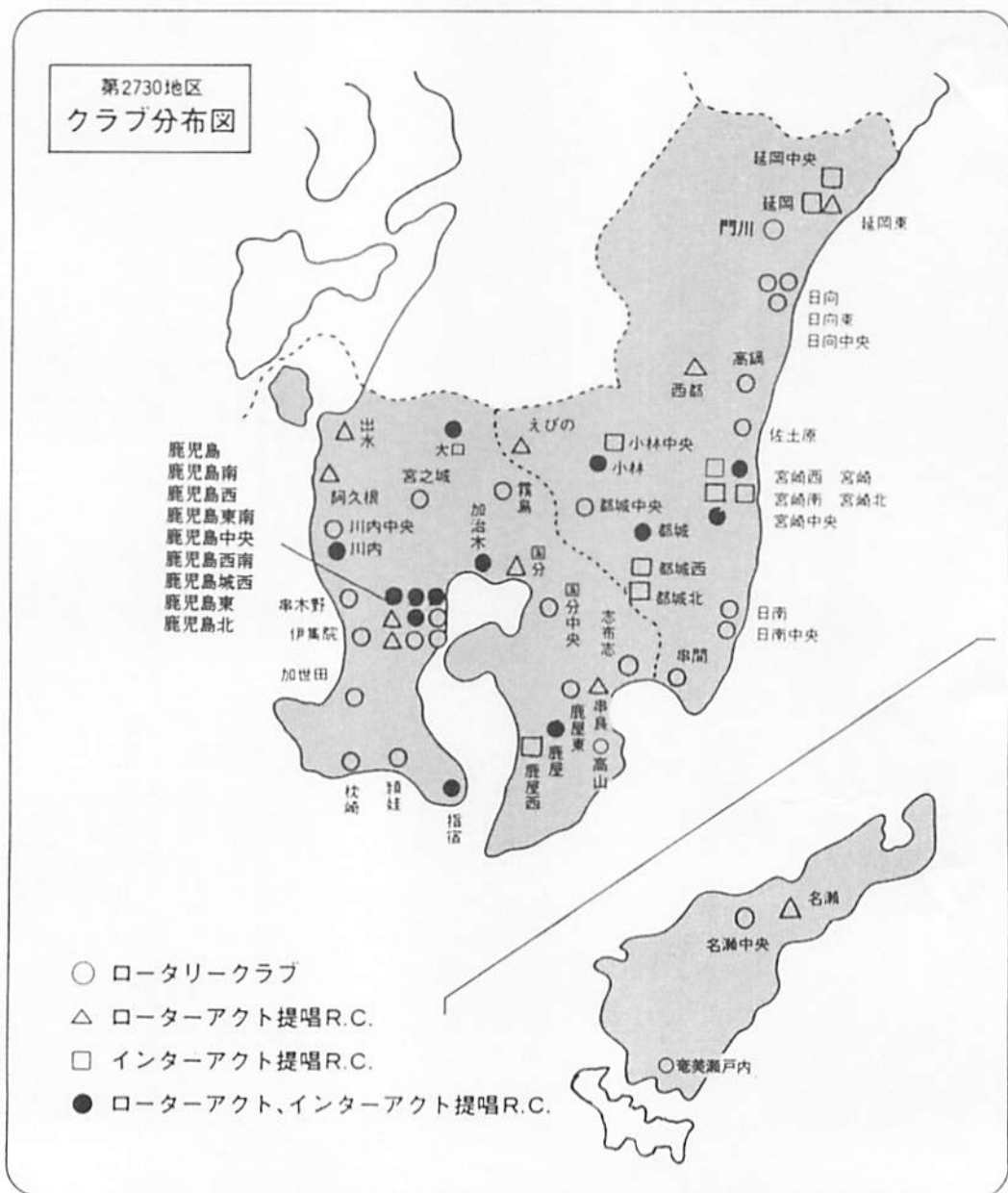
職 歴

昭和11年3月 本坊合名会社入社・現在代表取締役
昭和11年3月 日本澱粉工業㈱入社
昭和60年7月 日本澱粉工業㈱・現在代表取締役
昭和55年 (財)発明協会評議員現在
昭和63年 (財)鹿児島県更生保護協会会長現在

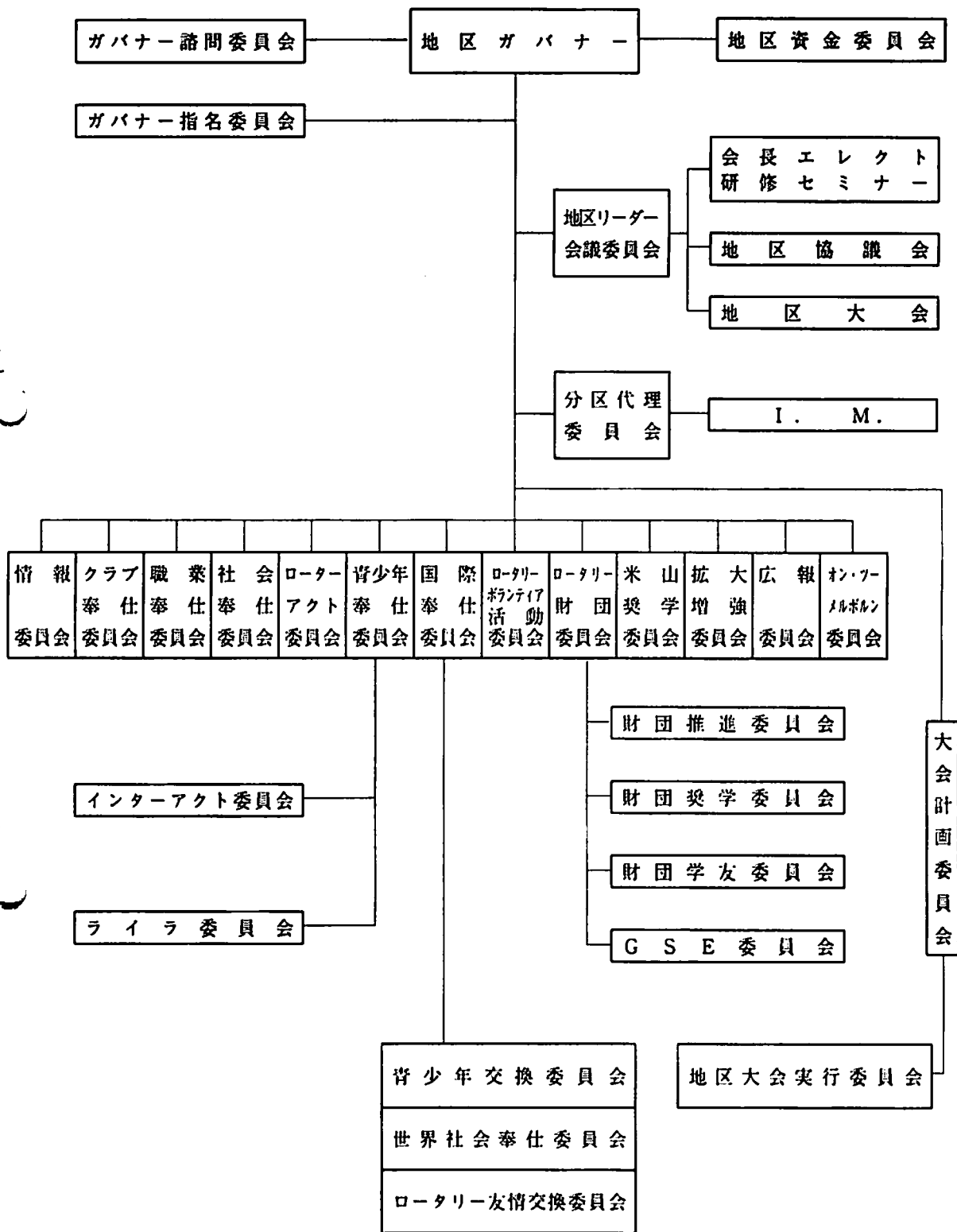
1992～1993年度
国際ロータリー第2730地区

地区の概況

ガバナー 本坊 蔵吉



1992~1993年度 R. I. 第 2 7 3 0 地区委員会組織図



1992～1993年度 国際ロータリー第2730地区 地区委員会組織図及び委員名

国際ロータリー	
会 長	クリフォード L. ダクターマン
理 事	松 本 卓 臣
事 務 総 長	スペンサー・ ロビンソン, Jr
Information Counselor	岡 村 俊 一
Publishments committee member	岡 村 俊 一

ガバナー諮問委員会	
○高津久厚 大津篤造 竹野融 吉村武人 井上和美 田中千尋 外山光男 岩澤卓郎 池田俊一 岩下哲重 今林重夫 井上日出	(都 城) (鹿 中) (宮 西) (延 岡) (出 水) (都 城) (鹿 屋) (宮 崎) (北 治) (小 林) (鹿 見) (宮 北) (指 宿) (延 岡)

ガバナー指名委員会	
○本坊藏吉 岡村俊一 岩下哲夫 今林重夫 井上日出	(鹿 見) (鹿 見) (宮 北) (指 宿) (延 岡)

ガバナー・ノミネー	
三重野良輔 (宮 崎)	

米山記念奨学生 生理	島 津 久 厚
国 内 会 員 増 強 委 員	井 上 和 人
国内情報規定 検討委員	岡 村 俊 一
ロータリーの友 地区委員	猪 野 平 幸

分 区 代 理	
宮 崎 県	北 中 部 伊藤 隆 (日 向) 泰 喜 八 郎 (宮 崎 中 央) 吉 留 公 哉 (都 城 北)
鹿 見 島 県	北 西 部 若松 和成 (川 内 中 央) 守屋 勉 志 (伊 集 院) 山崎 喜 雄 (加 治 木) 中 東 部 金子 宏 (鹿 屋 東) 鹿 市 部 貴島 清文 (鹿 見 島) 奄 美 部 前田 信一 (名 瀬 中 央)

情報委員会	クラブ奉仕委員会	職業奉仕委員会	社会奉仕委員会	ローターアクト委員会	青少年奉仕委員会
○井上日出男 大津篤造 井上和人 田中千尋 池田卓郎 岡村俊一 今林重夫	○田中千尋 (鹿屋西) 日高文雄 (宮崎西) 吉永紘一郎 (国分)	○岡村俊一 (鹿見島) 平尾金次郎 (延岡) 宇都巖 (鹿東南) 黒木文雄 (都城) 小宗隆之 (鹿見島)	○池田卓郎 (小林) 水瀧清見 (鹿見島) 永友俊彰 (延岡)	○岩澤光男 (加治木) 山下皓三 (鹿西) 小牧二郎 (鹿城西) 志多昭彦 (宮崎) 野口富弘 (都城)	○今林重夫 (指宿) 森本世界 (国分) 梁瀬貢 (日南中央)

インターアクト委員会
○海江田卓 (鹿西) 竹下巖 (鹿南) 江口清則 (都城北) 谷岑昭 (宮崎中央)

ライラ委員会
○四本誠 (鹿中央) 吉本光明 (宮崎) 喜島健一郎 (宮崎西) 廻光一 (鹿東南)

青少年交換委員会
○大津篤造 (鹿中央) 中原平一郎 (鹿屋西) 山浦良太郎 (都城) 手嶋八洲男 (鹿中央)

世界社会奉仕委員会
○井上日出男 (延岡東) 野村稔 (鹿見島) 緒方節生 (延中央)

ロータリー友誼交換委員会
○岡村俊一 (鹿見島)

ガバナー
本坊 蔵吉 (鹿児島)

地区幹事・副幹事
◎諏訪 秀治 (鹿児島)
猪野 平幸 (鹿中央)
田中 幸雄 (鹿北)

地区資金委員会
◎桑原 義和 (鹿児島)
逢富 脩 (延岡東)
松本 武夫 (宮崎)

会長エレクト研修セミナー
1992. 4.5 (日)

地区協議会
1992. 5.16 (土) ~17 (日)

公式訪問
1992. 7~11月中旬

地区大会
1992.11. 7 (土) ~8 (日)

I. M.

大会計画委員会
◎本坊 蔵吉 (鹿児島)
岡村 俊一 (鹿児島)
岩下 哲夫 (宮崎北)
今林 重夫 (指宿)
井上日出男 (延岡東)
大西 洋逸 (鹿児島)

国際奉仕委員会 ◎大津 篤造 (鹿中央) 岡村 俊一 (鹿児島) 井上日出男 (延岡東)	ロータリーボランティア活動委員会 ◎吉村 武文 (延岡)	ロータリー財団委員会 ◎井上 和人 (出水) 丸田 美徳 (都城) 岡村 俊一 (鹿児島)	米山奨学委員会 ◎菅 健志 (鹿中央) 大津 篤造 (鹿中央) 長友 大 (宮崎北)	拡大増強委員会 ◎岩下 哲夫 (宮崎北) 分区代理全員	広報委員会 ◎外山 三郎 (宮崎北) 松本 武夫 (宮崎) 永里 紘二 (鹿東南) 大坪 和 (霧島)	オン・ツームルボロン委員会 ◎本坊 蔵吉 (鹿児島)
---	---------------------------------	--	---	-----------------------------------	---	-------------------------------

財団推進委員会
◎丸田 美徳 (都城)
中村 清春 (都城)
小松 忠雄 (霧島)

財団奨学委員会
◎井上 和人 (出水)
貴島 清文 (鹿児島)
坂口 三郎 (都城)

財団学友委員会
◎丸田 美徳 (都城)
中村 清春 (都城)
押領司親正 (延岡東)
野村 俊治 (出水)

GSE委員会
◎岡村 俊一 (鹿児島)
岩下 哲夫 (宮崎北)
原田 貴太郎 (宮崎北)
貴島 清文 (鹿児島)
内田 薫 (加治木)
手嶋八洲男 (鹿中央)

地区大会実行委員会
◎大西 洋逸
水瀨 清見
種子田 眞 (鹿児島)
光安 善雄 (鹿中央)
近藤 健 (鹿北)
岩元 恭一
野村 明 (鹿児島)

会 長 報 告

会 長 岩 元 紀 彦

当RCの会長になりまして私が最も大切なことは、会員の皆さんが例会に喜んで、出席して頂くことだと思っております。

私も会長挨拶でまず皆さんの肩をほぐす話が出来れば幸いだと思っております。

一週間の間にあった政治経済とは離れたトピックについてコラム風に話をまとめることに努めています。

卓話も大切な雰囲気づくりです。会員卓話を織りまぜてと思っておりますが、プログラム委員長の御努力で次々適切な卓話者が続いています。

西RCでは、例会とは別に月に1回学習会を情報委員会の主催で開かれています。非常に中身の濃い研修会が行われています。

国際的に米サンタローザ市のサンライズRCと姉妹クラブになっており、国際奉仕活動として特筆する活動が行われています。

RI会長が国際社会奉仕を強調されておりますが、当クラブはサンライズRCと共同プロジェクトとして、チリのコワイケRCを通じてチリの恵まれない小学校に毎年1,000ドル送ることとし今年で2年目になっています。

その他、各委員会とも活発な活動をされ感謝にたえません。

幹 事 報 告

ガバナーの公式訪問が私共西ロータリークラブ会員の個々人にとってロータリアンとしてのあり方、委員会活動の見直しをする好機会としたいと思います。

又、本年度のR I会長のテーマ、及びガバナーの方針に沿った会長の指導が現実のものになる様心掛けたいと思います。

記

- 前年度後半より向上した出席率の向上、及びロータリー財団米山奨学金への寄付の向上を維持すること。
- 学習会活動を始めとする情報教育活動を充実すること。
- クラブの30周年記念事業を推進するに当り、実行委員会と緊密な連携をとりつつ万全を期すること。
- 記念事業が姉妹クラブとの親善の強化、現在進行中の国際社会奉仕の深化につながる様心掛けること。

ク ラ ブ 概 況 報 告

(平成4年10月31日現在)

1. 創 立 年 月 日 昭和38年3月23日
2. 承 認 年 月 日 昭和38年6月27日(九州において第28番目)
3. チャーターナイト 昭和38年11月20日
4. 当時のR・I会長 ニッチシ・P・ラハリー(インド)
5. 当時のガバナー 進 藤 誠 一(第370地区)
6. スポンサークラブ 鹿児島ロータリークラブ
7. チャーターメンバー 24名(その内現在会員2名)
8. アディショナルクラブ名と創立年月日
 1. 加 治 木RC 1967年(S42年)6月24日
 2. 加 世 田RC 1972年(S47年)10月18日
 3. 枕 崎RC 1972年(S47年)12月4日
 4. 鹿児島城西RC 1986年(S61年)9月16日
9. 地区外ロータリークラブとの姉妹兄弟関係
 1. 第2530地区 日本 鶴岡RC
= 1965年(S40年)5月9日締結
会員相互親善訪問, 週報等の交換
 2. 第5130地区 米国カリフォルニア州 サンタローザ・サンライズRC
= 1989年(平成元年)4月29日締結
青少年交換事業
10. 提唱インターアクトクラブ
 1. 鶴 丸高校IAC
発会日 1964年(S39年)10月8日
 2. 鹿児島高校IAC
発会日 1971年(S46年)6月17日
11. 提唱ローターアクトクラブ 名称: 鹿児島西ローターアクトクラブ
1976年(S51年)6月24日発会

12. 区	域	鹿兒島市中央部を貫通する甲突川上流の玉江橋から下流へー西田橋ー高麗橋に至り西へ高麗町本通りー大学通りー中郡電停ー更に電車路線に沿い鴨池公園南角に至り西へ谷山街道を経て宇宿町へ至る鹿兒島市西方区域。(但し、旧谷山市に属する区域を除く)											
13. 事	務	所	鹿兒島市金生町3番1号山形屋内(0992-23-5902)										
14. 例	会	日	毎週水曜日12時30分~13時30分										
15. 例	会	場	山形屋1号館7階社交室										
16. 歴	代	会	長	18ページ									
17. 歴	代	幹	事	19ページ									
18. 現	在	会	員	正会員 58名 アディショナル正会員 0名 シニア・アクチブ会員 41名 計 99名 入退会者数 入会者 3名 退会者 0名									
19. 平	均	年	齢	57.91才 最高 88才 最低 38才 80代 3名 70代 13名 60代 25名 50代 35名 40代 20名 30代 3名									
20. 出	席	率	94%(7・8・9・10月分)										
21. 入	会	金	35,000円										
22. 年	会	金	170,000円										
23. ビ	ジ	タ	ー	会	費	1,900円							
24. 会				報		毎週週報を発行							
25. ロ	ー	タ	リ	ア	ン	誌	2名						
26. ク	ラ	ブ	協	議	会		8回(あと7回以上)						
27. ク	ラ	ブ	フ	ォ	ー	ラ	ム	7回(あと4回以上)					
28. イ	ン	フ	ォ	ー	マ	ル	ミ	ー	テ	ィ	ン	グ	2回(あと1回以上)
29. 理		事	会					定例……毎月第2例会日 臨時……必要に応じ随時					
30. 委	員	長	会	議				4回(あと3回以上)					
31. 会	長	幹	事	会				市内……6回(あと4回)					

1992年7～10月例会活動実績

7 月	1	「クラブ協議会」(活動方針及び計画)
	8	「総 会」 (決算報告, 予算審議)
	15	「インフォーマルミーティング」(まことの幸福は人助けから)
	22	「戌辰役の意義」 西郷南洲顕彰会常務理事 児玉 正志 殿
	29	「ロシアあれこれ」 内山 光男 君
8 月	5	「労働分配率と労働時間短縮について」 県経営者協会 専務理事 岩月 正昭 殿
	12	「お盆の話」 最福寺宗務長 宮坂 有澄 殿
	19	「クラブフォーラム」会員増強委員会
	26	「定款第4条第1節により休会」
9 月	2	「労働時間の現状と時短促進法」 労働基準局長 中村 健策 殿
	9	「参 睦 会」(観月会) 於：サンロイヤルホテル
	16	「クラブフォーラム」(青少年奉仕委員会)
	23	「秋分の日につき休会」
	30	「我が国の貯蓄事情」 日本銀行 鹿児島支店長 小池 光一 殿
10 月	7	「企業における情報発信」 レディスマガジン びっくあっぷ編集長 たもつ ゆかり 殿
	14	「南溟建築構想について」 ㈱TAKASAKI物人研究所 代表取締役建築家 高崎 正治 殿
	21	「クラブフォーラム」(職業奉仕委員会)
	28	「職場訪問」 (NTT鹿児島支店)

< 諸 会 議 >

日時	会 議 名	場 所	内 容
7 / 1 (水)	臨 時 理 事 会		1. 退会届出の件 2. 新入会員選考の件
8 (水)	定 例 理 事 会		1. 名誉会員選任の件 2. 本年度, 地区広報, ラジオ広報の件
13(月)	第 1 6 7 回 学 習 会	ワ シ ン ト ン ホ テ ル	新年度のスタートにあたって テーマ「Real Happiness is Helping Others」 「まことの幸福は人助けから」 について
18(土)	地区社会奉仕委員会 国 際 奉 仕	サンロイヤル ホ テ ル 山 形 屋 フェニックス	1. 今年度に於ける社会奉仕活動 の重要性 2. 各クラブの決定事項の発表 3. お互いの意見交換 サンタローザ交換学生社行会
25(土)	広 報 委 員 会	ステーション ホテルニュー カゴシマ	1. 広報活動に関する件
29(水)	会 長 , 幹 事 会	サンロイヤル ホ テ ル	1. ガバナー公式訪問について 2. 市内RC会員名簿作成の件 3. 新春合同例会について
29(水)	臨 時 理 事 会		1. 新入会員選考の件 2. 例会休会の件

西ロータリークラブの推移

昭和	西 暦	ガバナー	会 長	
38~39	1963~64	嘉村平八	初代	桜美四郎
39~40	1964~65	町田秀実	2代	土橋英夫
40~41	1965~66	島田久厚	3代	塘 一 郎
41~42	1966~67	吉村常助	4代	米倉秀夫
42~43	1967~68	向笠広次	5代	島津忠丸
43~44	1968~69	大津篤造	6代	鮫島志芽太
44~45	1969~70	日高安壮	7代	佐伯延次郎
45~46	1970~71	八田 秋	8代	久保田彦保
46~47	1971~72	小田 一 昭	9代	岩元正二
47~48	1972~73	東 博 仁	10代	牧田健二
48~49	1973~74	杉野 執 三	11代	川村 洋
49~50	1974~75	竹野 融	12代	新福 栄 熊
50~51	1975~76	後藤 基 彰	13代	福田 敏 之
51~52	1976~77	塘 一 郎	14代	岡村 健 一 郎
52~53	1977~78	西田 武 雄	15代	河井 時 義
53~54	1978~79	吉村 武 文	16代	藤安 辰 造
54~55	1979~80	井上 和 人	17代	川上 鐵 太 郎
55~56	1980~81	福島 親 比 古	18代	浜田 霧
56~57	1981~82	大久保 一 郎	19代	中村 俊 雄
57~58	1982~83	杉村 進	20代	久保 政 次
58~59	1983~84	丸田 美 徳	21代	高井 敏 治
59~60	1984~85	田中 千 尋	22代	池田 廣
60~61	1985~86	外山 三 郎	23代	福田 正 臣
61~62	1986~87	岩澤 光 男	24代	中村 善 治
62~63	1987~88	池田 卓 郎	25代	小園 正 人
63~64	1988~89	岡村 俊 一	26代	外西 寿 彦
H1~H2	1989~90	岩下 哲 夫	27代	三角 桂 次 郎
H2~H3	1990~91	今林 重 夫	28代	川田 恵 一
H3~H4	1991~92	井上 日 出 男	29代	木治屋 克 己
H4~H5	1992~93	本坊 蔵 吉	30代	岩元 紀 彦

○ チャーターメンバー

安 犬 川 牧 西 田	楽 伏 村 田 郷 原	慶 康 健 隆 誠	一 郎 夫 洋 二 永 助	福 岩 小 松 桜 塘	井 元 山 元 美	健 幸 明 四 一	浩 吉 義 人 郎 郎	船 岩 倉 大 柴 土	木 元 園 小 田 山 橋	深 正 清 友 一 英	二 市 一 雄 夫	堀 河 黒 大 島 米	井 木 山 津 倉 計	俊 時 長 忠 秀	一 義 太 郎 実 丸 雄 計 24名
-------------	-------------	-----------	---------------	-------------	-----------	-----------	-------------	-------------	---------------	-------------	-----------	-------------	-------------	-----------	---------------------

(歴代会長並びに幹事)

幹 事	会員数	平均年齢	平均出席率	その他区順位
川 村 洋	35名	50.0 才	99.18%	9
高德 三蔵	44	49.0	99.11	9
河井 時義	48	51.40	99.09	8
藤安 辰造	46	52.70	98.81	
安楽 慶一郎	55	53.30	99.79	9
柴山 一雄	58	53.00	99.92	4
高井 敏治	61	52.80	99.92	6
久保 政次	65	52.60	98.83	9
田平 禮章	73	53.19	99.01	5
浜田 馨	79	52.09	98.14	10
外西 寿彦	75	54.30	98.73	9
小山 幸義	79	53.80	97.91	9
池田 廣	85	54.60	97.63	10
中村 善治	86	55.70	95.49	
小園 正人	90	57.10	96.52	
三角 桂次郎	87	56.45	96.59	
川田 恵一	88	57.25	96.92	
光吉 正昭	87	57.47	97.07	
徳澤 紀生	86	57.58	96.22	
水測 清治	89	57.02	93.96	
木治屋 克己	85	57.18	93.75	
柿市 高重	81	58.27	92.05	
山下 皓三	86	58.23	93.31	
中尾 洋	85	57.63	95.36	
桜美 義明	89	58.10	94.74	
岩元 基	91	58.05	94.06	
古木 圭介	90	57.97	93.21	
内山 光男	94	57.72	91.68	
上原 満	96	57.49	90.33	
玉川 哲生	99	57.91	94 (7.8.9.10)	

○ マルチプル・フェロー (1回故(柴山 一雄) 池口 恵観 以上2名

○ ボールハリス・フェロー

故(塘 一郎) 池田 廣 柿市 高重 故(柴山 一雄) (藤安 辰造) 池口 恵観
 故(牧田 健二) 河井 時義) 川村 洋 故(土橋 滋) 福田 敏之 川上織太郎
 川田 恵一 徳澤 紀生 故(海老原利則) 有馬 志享 小園 正人 岩元 紀彦
 村田 和雄 高井 敏治 木治屋克己 上原 満 片平 可也 岩元 基
 竹下 洋 林 其為 外西 寿彦 高山 義則 岩男 秀彦 玉川 哲生
 以上30名

○ ボールハリス準フェロー

故(桜美 四郎)故(岩元 健吉) (岩元 正二)故(岡山 栄) (池田 敏)故(永井 利承)
 浜田 馨 中村 善治 古木 圭介 光吉 正昭 桜美 義明 内山 光男
 太原 春雄 山下 皓三 前田樹一郎 三反田藤男 竹下 威 榎田 浩典
 須田 正己 江夏 洋 柴山 一清 久野 洋一 崎元 行範 以上23名

会 計 報 告

会 計 下 脇 二 則

基本方針及び計画

1. 全資産，記帳，資金の受払に対し，年1回あるいは理事会の要請があれば，その度説明を行う。
2. 本クラブの会計事務は，年1回公認会計士の監査を受ける。

ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会

委員長 岩 男 秀 彦

委員 ㊦吉留 益・小山 幸義・川田 恵一
前田樹一郎・三角桂次郎・永松 実夫
犬迫 守弘・高井 敏治・山下 和磨

基 本 方 針

ロータリーは「例会への出席」からはじまる。即ち，その例会に出席することによって奉仕の心を学びとるのであり，その例会がクラブ会員の人づくりの場となるのである。例会を楽しく，充実した集いになるように配慮する。各委員会が相互に協力しあってクラブの活性化をはかる。

本 年 度 の 計 画

1. 例会を充実していくことに努める。そのためにSAA，プログラム各委員のアイデアをどしどし出してもらおう。
2. 会員の卓話を多くとり入れ，お互いの理解を深めていく。
3. クラブ奉仕部門委員長と運営の話し合いを多くもつ。

3ヶ月に1回合同委員長会を開き，例会・運営等について意見をきくことにしたい。10/21委員会を開いた。そこで計画どおり行われているかどうかの検討を行った。

会 員 増 強 委 員 会

委員長 前 田 樹一郎

委 員 ㊦内山 光男・石神 兼康・川村 洋
光吉 正昭

基 本 方 針

1. クラブの円滑な運営ができるよう比較的若い力を導入し、年齢的にバランスのとれた会員構成をめざす。
2. クラブの活性化、向上、発展に寄与できるような人を推薦する。
3. 会員増強に職業分類委員会・会員選考委員会の協力をいただきながら、会員増強につとめたい。

本 年 度 の 計 画

1. 転勤、退会を見込んで、10%（10名）程度の会員増強をめざしたい。
2. 未充填の職業分類にそれぞれふさわしい会員候補者を推薦したい。

会 員 選 考 委 員 会

委員長 小 山 幸 義

委 員 ㊦中尾 正昭・木治屋克己・徳澤 紀生
小園 正人

基 本 方 針

会員の選考については下記の点に留意する。

1. 社会人として常識的なバランス感覚を持つ人で、且つ財政的な義務を支障なく果せる事。
2. クラブ会員として活動的である事（当然出席も含め）。

本 年 度 の 計 画

職業分類、会員増強の各委員会と連絡を密にして、すぐれた会員の増強につとめたい。

職 業 分 類 委 員 会

委員長 吉 留 益

委員 ㊦水沢 清治・柿市 高重・崎元 行範
上原 嵩

基 本 方 針

地域社会の職業分類を調査し充填及び未充填職業分類を作成して絶えずこれを検討します。

本 年 度 の 計 画

クラブ奉仕、会員増強、会員選考、各委員会と協力し会員の増強をはかると共に、会員があって職業分類があるのではなく、職業分類があって会員があると云うことを基本に考え計画致したいと思います。

ロータリー・クラブはいずれの実業、又は専門職業に偏ることなく、均整のとれた会員組織をもつ事が発展のため極めて大切である。

出 席 委 員 会

委員長 山 下 和 磨

委員 ㊦高山 義則・林 其為・須田 正己
新川 靖博

基 本 方 針

ホームクラブの100%出席を目標とするがやむをえず例会欠席の場合は早目にメイクアップするとかローターアクトへの出席(メイクアップになる)などお願いしたい。

本 年 度 の 計 画

1. 連続出席者表彰
2. 出席率を高めるスローガンなどを会場に掲示する。
3. 出席報告の後に次回例会出席をお願いする。
4. 市内各クラブ例会日カードを作りメイクアップをしやすくする。

親 睦 委 員 会

委員長 大 迫 守 弘

委員 ㊦松田 忠臣・有馬 戦男・福田 一郎
福地 眞・川崎 洋・永田 征之
王 剡彬・尾崎 義則・小原 昭彦
岡山 唯一・相良 正典・竹下 威
高橋 良明

基 本 方 針

会員相互間の親睦を計り、ビジター、ゲスト等来訪者に親しみ易いクラブ作りの為に、委員全員が自覚して奉仕に努める。

本 年 度 の 計 画

1. 参睦会の実施
2. 観月会の実施（9月9日実施済）
3. クリスマス家族会の実施（12月9日予定）
4. 有志によるゴルフコンペの実施
5. 会員有志および家族によるピクニック

以上の計画を委員の知恵を出しあい、西クラブの伝統を大事にして進めるよう努力する。

ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会

委員長 永 松 実 夫

委員 ㊦白濱 英美・森永 茂樹・野添 良隆
坂元 明雄・田中 寛吉

基 本 方 針

基本方針及び計画についてはアッセンブリー掲載の通り。

西RCでは永年継続して来ている月1回の学習会を軸に今期は今までに、7月13

日第 167 回「まことの幸福は人助けから」のテーマについて、8月10日第 168 回は情報と広報、(会員増強)、(拡大月間)について、9月14日青少年活動、10月12日は職業奉仕と米山月間について話し合いを続けて来た。特に情報と広報については、白濱会員が報道機関・責任者へのアンケートをとり、貴重な回答を得ることが出来た。その質問文及び解答については別紙の通り。

会員増強については会員増強委員会と共に未充填職種部分を明確にし、この分野については特に会員の推薦を行うよう毎例会の出席表の横にその一覧表を貼り幹事からもその要請を行ってもらった。また先日行なわれたサンピア都城での職業奉仕と情報委員会との合同委員会での重点項目と内容をクラブフォーラム及び週報によって伝えた。

新入会員に対しては基本方針に従ってその都度会員としての特典と義務を伝え、それをマニュアル化するよう努力している。

10月19日には学習会とは別に情報委員会独自の会合を持ち、今期行って来ていることと、今後行なうべきこと、その他について検討した。11月9日の学習会では、地区大会についてとロータリー財団月間について話合う。

会 報 ・ 雑 誌 委 員 会

委員長 高 井 敏 治

委 員 山下 皓三・菊野 晋治・中野 隆正

基 本 方 針

1. 会報を毎週発行してロータリーに関する情報を伝えると共に、親睦に役立てる。またクラブの歴史を記録するものとして関係委員会と連絡して編集する。
2. ロータリーの機関誌の記事を紹介し、読むことを奨励する。

本 年 度 の 計 画

1. 週報の内容については、理事会、委員会、学習会、例会、各種会合などの記録を適切に掲載するようにつとめる。

2. 会報に会員の意見，随想等の投稿をお願いします。
3. 従来通り会報を関係先に送付する。
4. ロータリーの友，ザ・ロータリアン誌，等の記事の中で重要なものを例会や週報で紹介すると共に読むようにすすめる。
5. 雑誌月間に留意する。

プログラム委員会

委員長 三角 桂次郎

委員 ㊟桜美 義明・池口 恵観・平岡 禎吉

津田 正宏

基本方針

RI会長のターゲットである「まことの幸福は人助けから」の線にそった卓話者をお願いしますと共に岩元会長の方針を尊重しなるべく会員多数に短くてもあたたまる話を沢山して貰う様にする。

本年度の計画

1. まことの幸福は人助けからにふさわしい卓話をお願いします。
2. マスコミ関係者で将来ロータリアンになっていただきたい人をお願いをする。
3. ボランティア活動をしている人をお願いします。
4. 女性卓話者を探す。
5. 会員は本年度内必ず一回はすすんで卓話をする事。
6. 立派な卓話者の情報をお願いしたい。
7. 国際交流の話もぜひお願いしたい。

広 報 委 員 会

委員長 川 田 恵 一

委員 ㊦海江田 卓・前田 隆造・岩元 基
吉田 正武

基 本 方 針

ロータリーの精神及びその活動の実態を広く地域社会の人々に正しく伝えて、ロータリーを正しく理解してもらうよう努める。又、クラブ会員に、国際レベルのロータリーの今年の活動計画、活動目標を伝えて各会員のロータリアンとしての生活、活動の道しるべになるよう努める。

本 年 度 の 計 画

1. 地域の報道機関の人々にロータリーを正しく理解してもらうために、情報委員会と組み、“アンケートのお願い”のパンフレットを配った。
2. 7月25日 13:00～15:00まで地域広報委員会をニューカゴシマで開き、地区広報活動について協議した。鹿児島県ではラジオの広報は5月の第1土曜日13:00からで、7月は本坊ガバナーの挨拶があった。
3. 理事会及び各委員会の動向をよくつかみ会員にPRする。
4. 会員の広報意識高揚と又、協力を得て対外的にも広報活動を推進する。

S . A . A 委 員 会

委員長 三反田 藤 男

委員 ㊦江口 清隆・牛垣 徹

基 本 方 針

1. 厳粛な中に明るい雰囲気醸し出す。
2. ゲスト、ビジターの席及び配膳への配慮。
3. 例会の座席への配慮。

本年度の計画

1. 常に率先して会場，雰囲気，バックミュージック等，他クラブにない特徴をだすよう心掛ける。又，クラブ全員に好感をもたれるS・A・Aとする。
2. 親睦委員会と連携を保ち，新入会員にも配慮をし，早くクラブに馴染んで貰う。
3. 会場での私語には特に注意を払う。

職業奉仕委員会

委員長 山元政明

委員 ㊦岩田 泰一・外西 寿彦・池田 廣

黒木 幸一・江夏 洋

基本方針

職業奉仕はロータリークラブとクラブ会員両方の責務である事の認識に立って最も高度の道徳的水準を守り，職業奉仕の理想を実行普及するよう奨励する。

本年度の計画

1. 1989年に採択された「職業宣言」を例会場に掲示する。
2. 少しでも，クラブ会員それぞれの職業奉仕の実態を認識，理解する機会を設ける為に会員の職業紹介等の卓話の機会を多く持つようにする。
3. 職業奉仕月間の10月は，NTT鹿兒島支社の職場訪問を行なった。
4. クラブ会員の推薦を受けて，隠れたる優良従業員の表彰を行なった。

今年度は，NTT社員の中でボランティア活動を続けておられる人の表彰を実施した。

社 会 奉 仕 委 員 会

委員長 村 田 和 雄

委員 ㊦片平 可也・川上織太郎・竹下 洋
徳田 基

基 本 方 針

1. 地域社会が真に必要としている事柄は何かを調査検討し、地域社会と会員の協力、理解を得て、地域に密着した、奉仕活動を行う。
2. 会員の協力を得て、その職業的知識と経験を生かした奉仕活動を行う。

本年度の計画

1. 隠れた社会奉仕実践者に対し、毎年贈っているロータリー賞を継続実施する。
2. 県立図書館の「鹿児島西クラブ青少年文庫」に追加献本する。
3. 青少年健全育成を目的とする。「鹿児島西ロータリークラブ友愛文庫」の図書贈呈を継続して実施する。
4. 社会福祉施設の訪問と音楽会の開催。
5. ローターアクト会員と協力して、毎月一回、西鹿児島駅前の清掃を行い、環境の美化にとりくむ。

ロ ー タ ー ア ク ト 委 員 会

委員長 田 崎 一 郎

委員 ㊦山田 晴彬・平井 潔孝・中川 宏
住吉 三滋・菅 富男

基 本 方 針

ローターアクトの会員増強に努め、活性化を計り、地域に密着した社会奉仕を推進する。

本年度の計画

- ① ロータリアンに例会出席をしてもらい助言、指導を行う。
- ② R A Cの海外研修参加
- ③ 社会奉仕、朝の清掃、愛の聖母園訪問
- ④ 30周年事業への協力参加

実績：○海外研修へ3名参加

○キャンプ参加 (8/9) 台風の為1日だけ

○県内合同スポーツ大会参加 9/27日

青少年奉仕委員会

委員長 川平 建次郎

委員 ㊦宮脇真一郎・石橋 恵二・谷口 良康
林 伴親

基本方針

1. 青少年に、生活態度の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成する。
2. インターアクト委員会と連絡を密にして、青少年の活動に関心を持ち、活動への参加と援助を惜しまない。
3. ロータリアン各自が、日常の青少年との接触において、多くを学ぶ努力をする。

本年度の計画

1. インターアクトの会合に積極的に参加する。
2. インターアクトの活動への助成と援助をはかる。
3. インターアクトの在り方などについて、委員会とともに、その見直しをはかり、会員増強に協力する。
4. 交換留学生の制度の維持と発展に寄与する。
5. '93年6/12(土)13(日)に予定されているライラ(青少年指導者育成プログラム)に多くの青少年が参加できるように努力する。昨年4名、今年0名。

インターアクト委員会

委員長 古木 圭介

委員 ㊦原田 隼男・榎田 浩典・染川 周郎
水流 洋

基本方針

インターアクトの会員と指導の先生との融合の場をできるだけ多く持ち、活動の強化、相互理解をはかる。

本年度の計画

1. 国際奉仕委員会の協力により、インターアクトのメンバーをサンタローザへ派遣した。(鶴丸高, 女生徒1名)
2. 鶴丸, 鹿児島高校のインターアクトクラブのメンバーとロータリー会員との懇談会を開催。
11月21日(土)午後2時30分より, 鹿児島高校において, 高校生のための「職業選択フォーラム」を開催。
3. インターアクト年次大会出席のため協力, 援助を行った。

国際奉仕委員会

委員長 千原 昭義

委員 ㊦福田 正臣・中村 善治・柴山 一清
坂本 文俊

基本方針

ロータリアンの責務である奉仕の精神にもとずき、あらゆる国の人々との間に理解と親善を増進し、国際平和に寄与すべく奉仕活動を推進する。

本年度の計画

- 1) 国際青少年交換活動の一環として、サンタローザ交換学生の派遣に協力、イン

ターアクト委員会の協力、推薦により、本年度は鶴丸高校の東美直子さんを3週間の予定でサンタローザに派遣した。

- 2) '93年3月の本クラブ創立30周年記念行事に関連して、来鹿予定のサンタローザ、サンライズRC会員を歓迎、交流を深める。
- 3) 前年度につづき本年度もクリスマス家族会に在鹿留学生を招待したい。
- 4) 国際奉仕におけるロータリーの基本方針の一つである世界社会奉仕活動の一環として前年度からサンタローザ・サンライズRC、広島のロータリークラブと当ロータリークラブの三者合同で、各1,000ドルずつ合計3,000ドルを拠出して、南米チリのコワイケRCに援助、今後5年間継続する計画である。なおコワイケRCでは初回の援助金で同地の小学校にストーブ、ベッドを購入して贈ったとのことである。

ロータリー財団委員会 米山奨学会

委員長 安田 正治

委員 ④浜田 馨・福田 敏之・中村 一雄

太原 春雄

基本方針

ロータリー財団並びに米山奨学会の目的と現状を全員に良くわかってもらい各種のロータリー財団プログラム米山奨学活動へ努力する。

本年度の計画

1. ロータリー財団に関する広報活動を行う。
2. ロータリー財団資金の推進を行う。
 - イ. ポールハリスフェローの募集につとめる。
 - ロ. 準フェローを増やすことに努力する。
 - ハ. 百万ドル食事を年に10回行う。
 - ニ. 財団への募金をつのる。